三沢市

社協だより

H23.12.1

発行者　社会福祉法人　三沢市社会福祉協議会
住　所　〒033－0011 三沢市幸町三丁目11－5
TEL 0176－53－3422／FAX0176－52－4545

第133号

福祉大会御礼と間違い探し

第24回三沢市民福祉大会を終えて

御　礼

去る10月22日(火)、第24回三沢市民福祉大会を、記念講演の講師に『弘前市ボラ連会長　柳田光祥氏』を迎えて開催いたしましたところ、会場満席の皆様にお集まり頂き、盛会に終えることができました。ここに、開催に際し、多大なるご理解とご協力を賜りました関係者の皆様、そして、ご参席賜りましたご来賓はじめ・市民の皆様に対し、本紙面をもちまして衷心より厚く御礼申し上げます。

大会長

今回の大会は、昨年に続き「市社協法人化50周年に向けて」と題し、第二部の企画に、6月の三沢市ボラ連総会時の研修会の講師としてお願いし、好評を博した『弘前市ボランティア連絡協議会 会長柳田光祥氏』を再度招き、巧みな話術とギターを堪能しました。

会場の小ホールには、大勢の市民各位と来賓の参席を賜り、式典・表彰では、はじめに、民生委員、社協役員、各種団体や施設からの推薦による社会福祉事業協力者を代表し、渡辺主任児童委員と、民間社会福祉施設勤務職員の代表、澤上看護師に表彰状を、社協への福祉活動資金寄附協力者に対しては、感謝状を授与させていただきました。

【表彰を受ける渡辺正明氏】

その後、第二部記念講演では『おじいちゃんからの手紙』と題して、柳田光祥氏からご講演を頂きました。

講話では、『エレキとの出会い、おじいちゃんからの手紙、PTAのこと…』について、津軽弁ながらもおだやかに語られる体験談、真顔のジョーク、合間合間のギターの弾き語りで、会場は笑い声と、音楽に包まれ、時おりほろりとさせられながら、終始和やかな雰囲気で、楽しい時間を過ごすことができました。

なお、受賞者は次のとおりなお名前を呼ばれ起立する受賞者

社会福祉事業協力者の部

▼名誉大会長・大会長

連名表彰の部　21名

①民生委員・児童委員の部

10年以上　2名

・渡辺正明　様
・根岸義信　様

②社会福祉団体・法人役員の部　10年以上　3名

▽三沢市社会福祉協議会
監事 中村憲一 様
監事 大村 茂 様

▽三沢市手をつなぐ育成会
理事 木村美智子 様

③社会福祉活動功労者の部

10年以上　7名

▽三沢建築組合
・木村　工 様

▽大三沢婦人会
・守村しで 様
・月舘トク 様

▽三沢市赤十字奉仕団
・黒沢クニ 様

▽三沢市連合婦人会
・武内弘子 様
・小田嶋幸子 様

▽看護ボランティア笑顔の会
・小泉律子 様

④民間社会福祉施設勤務職員の部15年以上　9名

◎(幸陽会)松園保育園
園長 山本和紀 様

◎(古牧会)春日台保育園
保育士 小山田亨子 様
保育士 三宅順子 様

◎(若竹会)三沢愛子保育園
保育士 小比類巻直子 様

◎(楽晴会)三沢訪問看護ステーション
看護師 澤上和枝 様
・グループホームはるが丘
ケアワーカー 鍋久保裕子 様
・岡三沢ぬくもりの家
所長 吉田薫明 様
主任ケアワーカー
吉田幸恵 様
・三沢老人ホーム
ケアワーカー 沼尾貴子 様

▼感謝の部

名誉大会長・大会長連名

(1)福祉団体・施設援助功労

▽三沢市手をつなぐ育成会の推薦による
・北向富枝 様

(2)多額並びに永年にわたる寄附功労　1団体2名

単年度で10万円以上か、複数年で50万円以上等
・三沢建築組合 様
・宮古久光 様
・高屋敷松五郎 様

この社協だよりは，共同募金の配分金を財源に作られております。

共同募金活動協力者の部

Ⅰ　伝達の部

▼平成22年度中央共同募金会会長感謝楯

（単年若しくは、3年間で100万円以上の寄附）

・　航空自衛隊三沢基地
　隊員一同　様

▼寄附金感謝の部

大会長（市社協会長）感謝

表彰規程内規による

4個人・14団体・法人様

河村行正様他3名・三沢商業高校22年度2年2組様他13団体・法人を代表し、三沢キリスト伝道協力会様（代表福田様）に、代表で授与させていただきました。

名前を呼ばれ起立する受賞者

○　県共募丸井常務より、航空自衛隊三沢基地司令代理監理部長　金崎　悟氏へ手渡されました。

▼平成22年度中央共同募金会会長感謝状

（単年若しくは、3年間で60万円以上の寄附）

・　米軍三沢基地一同　様

Ⅱ　表彰の部

▼募金会長表彰　共同募金活動協力者　10年以上4名

・　総合保険センター　様
・　まつぞのクリニック様
・　山木歯科医院　様
・　きざん三沢&
　社員一同　様

全国大会報告

去る11月18日(金)、東京都日比谷公会堂において、全国社会福祉大会が開催され、『社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労の部』で、本会評議員の木田光男氏が表彰を受けられました。

木田氏は、昭和61年6月に評議員に就任以来、13期25年の永きにわたる、本会評議員としての活動が認められたものです。

県大会報告

去る11月15日(月)、青森市文化会館において、第60回青森県社会福祉大会が、開催されました。

本市からは、黒田会長以下関係者36名が参加し、研修を積んで参りました。

今回の大会では、テーマとして「挑戦～地域の『絆』を大切にした地域社会の実現に向けた新たな一歩！」を掲げ、最初に、去る3月11日の『東日本大震災』以後の、八戸市や三沢市を中心とする県内の被害状況や、八戸社協と三沢社協のボランティアセンターの活動状況、そして県社協が、県内40市町村社協の協力を得ながら取り組んだ、岩手県野田村への支援活動等がまとめられた『活動報告書』をもとに、「復興支援活動報告」がなされました。

（この報告書は、本会窓口に、25部程用意されておりますので、ご希望の方に無償でお譲りいたします。）

▼講　演

式典に先駆けて行われた「記念講演」では、弁護士で、さわやか福祉財団の理事長　堀田　力氏が、『支え合う豊な地域をめざして』と題し、同財団他、6つの団体で組織する『地域包括ケアの町への復興応援団』が提唱している「地域包括ケアの町」について、ご講演下さいました。

好評だった堀田氏の記念講演

▼式典と表彰

続く、式典での表彰では、毎年行っている「赤い羽根共同募金コンクール」「作文の部」で、本市から、三沢市立第一中学校2年　中林　栞里　さんの「笑顔になれる幸せの羽根」が最優秀賞に選ばれ、表彰の後、朗読された他、優秀賞に、同校2年の原田華奈さんの「思いやりを届ける赤い羽根」も、選ばれました。

▼展示コーナー

また、会場には展示コーナーが設けられ、県内の市町村社協の活動報告がパネル展示された他、県内の各種障害者施設等の製品が展示販売され、来場者が福祉活動に見入ったり、製品を買い求めておりました。

さらに「赤い羽根共同募金コンクール」の「ポスターの部」最優秀作品2点と、優秀作品8点、そして運動の広報ポスター等が掲示されました。

今回の大会での展示コーナーの異色物品は、黒石社協が展示した、災害用品の中の、携帯ガソリン（缶詰）で、多くの来場者の《注目の的》となりました。

また、今回の大会では、永年にわたる「募金会業務従事者」として、本会職員3名も受賞しました。

みんなでささえあうあったかい地域づくり

『歳末たすけあい運動』は、共同募金運動の一環として、『募金会』と、『社会福祉協議会』が合同で行う運動であります。

スローガンは、右に掲げた「みんなでささえあうあったかい地域づくり」で、本市では、町内会を通して行っていた募金のお願いを、平成16年度からは、社協会費に一本化してお願いいたしておりますが、個別の浄財については、募金会にて受け付けております。

そして、この社協会費の一部と、募金委員会に寄せられた浄財を財源に、様々な『歳末支援事業』を実施しております。

▼22年度の社協会費と募金実績

(1) 社協会費実績

（町内会扱い分）

106町内会

8、056世帯

3、723、900円

(2) 歳末募金実績

（募金委員会扱い）

① **団体募金 7件**
782、726円

② **個人募金 7件**
71、043円

③ **職域募金 1件**
64、745円

④ **学校募金(保育園) 1件**
10、000円

総額 928、514円

ご協力、本当にありがとうございました。

▼22年度の主な歳末支援事業

(1) **低所得世帯に属する児童・生徒への支援活動**

教育委員会、及び学校と連携を図りました。

(2) **福祉団体等支援事業**

福祉団体等の、年末年始の事業を支援しました。

(3) **高齢者参加事業支援**

原則、町内会を単位として、地域の高齢者の行事への参加を促進するため助成しました。

(4) **除雪事業支援事業**

高齢者等の、除雪困難者宅の除雪に協力した町内会の除雪チームを応援しました。

▼23年度歳末支援事業の予定

23年度の歳末支援事業についても、11月11日の歳末支援事業検討会、並びに11月28日の歳末支援事業説明会を経て、22年度と同様の事業を継続実施することになりました。

皆様の絶大なるご支援とご理解、ご協力をお願いします。

(1) **低所得世帯に属する児童・生徒への支援活動**

(2) **福祉団体等支援事業**

(3) **高齢者参加事業支援**

(4) **除雪事業支援事業**

高齢者参加・除雪支援事業

本会では『年末年始町内会活動等支援事業』として、次の助成基準を設けて実施しております。

(1) 対象支援事業

① 交流会活動事業

日頃閉じこもりがちな概ね70歳以上の一人暮らし高齢者、若しくは80歳以上の高齢者等が参加する事業で「参加者負担」のある事業

ア 主な活動例

○集会所等を利用した手作り会食会等

○子ども達も参加させたもちつき会等

○トランプ大会等のゲーム大会等

イ 助成金額

▼参加人数基本額

20名以内 5、000円

21名以上 10、000円

▼会場・事業加算額

集会所等を利用して行う手作り会食会

10、000円

▼参加者助成加算額

70歳以上の一人暮らし高齢者、並びに80歳以上の高齢者の参加費を助成。但し、参加費相当分を基本に、上限1,000円。

▼助成回数と限度額

町内会単位で1回とし、上限は40、000円

② 除雪活動支援事業

玄関先の除排雪を希望する要支援者宅応援する事業

▼助成金額

◎除雪隊協力者人数別

1~4名 5、000円

5~10名10、000円

11名以上15、000円

(2) 活動実施期間

概ね12月~2月までの3ヵ月以内の活動

(3) 申請と報告

◎どちらの活動も、原則として事前に、活動予定書と計画書を提出していただき、活動終了後に、報告書、及び決算書を提出していただきます。

◎添付書類には、活動写真が必要となりますが、除雪活動においては、写真がない場合もありますので、その際は、事務局までご相談ください。

▼22年度の町内会活動実績

① 交流会活動の部

23町内会が実施。

▽その内、年末が6町内会、年始が17町内会。

忘・新年会含む会食会が17町内会、餅つき会含むレク交流会が、6町内会でした。

② 除雪活動の部

8町内会において実施。うち、4名以下は1町内会。5~10名が5町内会。11名以上が3町内会でした。

お節宅配ボランティア大募集！

◎暮れの大晦日。12月31日におせち料理を配達してくれる方募集中!!

▼本会では、福祉安心電話を設置されている高齢者90名と、配食サービスを利用されている34名。さらにはNHK歳末たすけあい事業の支援該当者を対象に、12月31日にお節料理を配っております。忙しい大晦日ですが、皆様のご協力をお待ちしてます。

この社協だよりは，共同募金の配分金を財源に作られております。

ご寄附ありがとう

▼9月28日から11月28日までにご寄附頂いた方々は、次のとおり。

◇国際ソロプチミスト三沢様（会長 山本雅江 様）10／6 50、000円
10／6に三沢ボウルにて行ったチャリティーボウリング大会の益金から

◇三沢市身体障害者福祉会様（会長 松宮 嵩 様）10／7 5、000円
8／7の社協まつりに出店した模擬店での収益金の一部を寄附

◇山谷 春芳 様 10／17 10、000円
社協の福祉活動の支援費として寄附

◇市民社交ダンスフェスティバル様（4教室合同で）10／31 32、934円
10／30に三沢市公会堂にて行ったフェスティバルでの募金を寄附

◇山本 親男 様 11／15 5、000円
バルーンアートで訪問した保育園からの謝金を福祉活動費にと寄附

◇㈱マルハン青森下田店様（店長 大島雅典 様）11／10 80、000円
店内他に行っているプルタブ・アルミ缶回収運動で得た益金で購入した軽量アルミ製車椅子を寄附

◇三沢市社交ダンス愛好会様（会長 小泉要喜知様）11／11 20、000円
社協活動を支援するために会員の会費の中から毎年行っている寄附

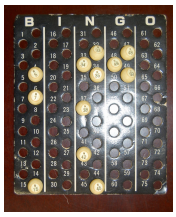
◇三沢地域子育て支援センターと子育て9サークル一同様 11／21 8、700円
行事の際に福祉活動支援費として行った募金

第20回間違い探し当選発表

▼第20回間違い探しにご応募頂きありがとうございました。今回の応募状況は次のとおりで、当選者については、20回記念により1割増しの12名としました。

▽応募状況
①応募総数 51通
②正解者 37通
③正解率 72.55％
でした。

▼当選者12名
・根井 阿部 靖子様
・淋代 大野 るり子様
・松園町 柏崎 安子様
・桜町 近藤 さおり様
・後久保 武田 道一様
・前平 村井 のり子様
・花園町 種市 陽子様
・南町 西田 砂織様
・大津 天摩 節子様
・春日台 戸舘 ふじ様
・大町 田中 浩様
・本町 宮崎 里美様



▼第20回間違い探しにご応募頂きありがとうございました。今回の応募状況は次のとおりで、当選者については、20回記念により1割増しの12名としました。

▽応募状況
①応募総数 51通
②正解者 37通
③正解率 72.55％
でした。

▼当選者12名
・根井 阿部 靖子様
・淋代 大野 るり子様
・松園町 柏崎 安子様
・桜町 近藤 さおり様
・後久保 武田 道一様
・前平 村井 のり子様
・花園町 種市 陽子様
・南町 西田 砂織様
・大津 天摩 節子様
・春日台 戸舘 ふじ様
・大町 田中 浩様
・本町 宮崎 里美様

間違い探しの抽選会は、ビンゴの機器を使用し、回し手は会長が務め、厳正なる抽選を行っております。

方法は、応募順に番号を振り、正解された方の番号がついた玉を機器に入れて回し、出た番号を当選としました。

間違い探しアラカルト

▼間違い探しを始めて20回目。これまでのデータをまとめて見ました。

①応募者総数 428名
②最多応募回数 14回1名
・10回以上 7名
・5～9回 17名
・2～4回 92名
・1回のみ 312名
③延べ応募者数 718名
④最多応募数 67通
第1回目の平成6年9月
※今回の応募数51通は、歴代4位です
⑤最小応募数 16通
11年9月の8回目と、12年10月の9回目
⑥最多正解数 52通
14回目で応募数は64通
⑦最小正解数 9通
8回目で応募数は16通
⑧最高正解率 95・45％
15年の12回目で応募数は22通でした。
※記録上は2回・9回の100％があるが特例で除外
⑨最低正解率 50・00％
19年の16回目で応募数は32通でした。
⑩当選総数 275名
1回当たり10名の当選ですが、応募者数や出題により、変動しました。
⑪最多当選回数 7回1名
この方は、11回の応募ですから、かなりの確率ですが、確率では5回の応募で5回当選もございます。
⑫当選者実数 182名
この内、2回以上の当選者が44名おりました。

社協川柳

▽昼食と安否確認お届けに 高齢者 移送するのも まず笑顔

▽お悩みの 未知との遭遇 する社協

▽社協内 自分の福祉 だけはない

時事川柳

▽観客が 謹慎中の 大相撲

▽ザックJ 負けて北から 帰国許可

▽罰金が ブレーキ踏んだ ピストチャリ

＊詠み人 事務局 松田

※次号から、市民の皆様の川柳を募集・掲載します。

▼連絡先53－3422

これからの法律相談日

12月13日（火）
1月10日（火）
2月14日（火）
3月13日（火）
4月10日（火）
5月8日（火）

※相談は要予約で、時間は、午後1時から4時迄。1人30分、1日6人迄です。

▼毎戸配布チラシ参照

※予約TEL52－3270

▽編集後記△

▼間違い探しの原稿は、カラーになってきており白黒印刷の濃淡ではFAX応募に無理が生じてきております。また、9月の前半の応募に間違いが多く、後半はほとんど正解だったことから、はてな（？）のある時は、時間を掛けましょう!!▼時事川柳・福祉川柳の募集を始めます。今回は作例として本会職員が詠んだ川柳を掲載しましたが、皆様の応募をお待ちいたします。次回は2月発行予定です。（事）

この社協だよりは，共同募金の配分金を財源に作られております。